会社概要

商　　号	ムラキ株式会社
英 訳 名	MURAKI CORPORATION
本店所在地	〒206-0011 東京都多摩市関戸2-24-27 三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル　5F TEL 042-357-5600 FAX 042-357-5606
創　　業	昭和21年2月1日
設　　立	昭和32年11月15日
資 本 金	19億1,070万円 (平成27年3月期)
従業員数	257名

役　員

取締役会長	田中舘　喬
代表取締役社長	永井清美
常務取締役	関冨直彦
取締役	野口顕一
常勤監査役	吉田　誠
監査役	川口幸信
監査役	長澤正浩
執行役員経理部長	上中良典
執行役員総務人事部長	大矢敏之
執行役員販売部長	柳田任俊

HPのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした最新情報がご覧いただけます。

http://www.muraki.co.jp/

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	電話　0120-782-031（フリーダイヤル）
公告掲載新聞名	日本経済新聞

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

MURAKI

Interim Business Report 2016

第58期 中間株主通信

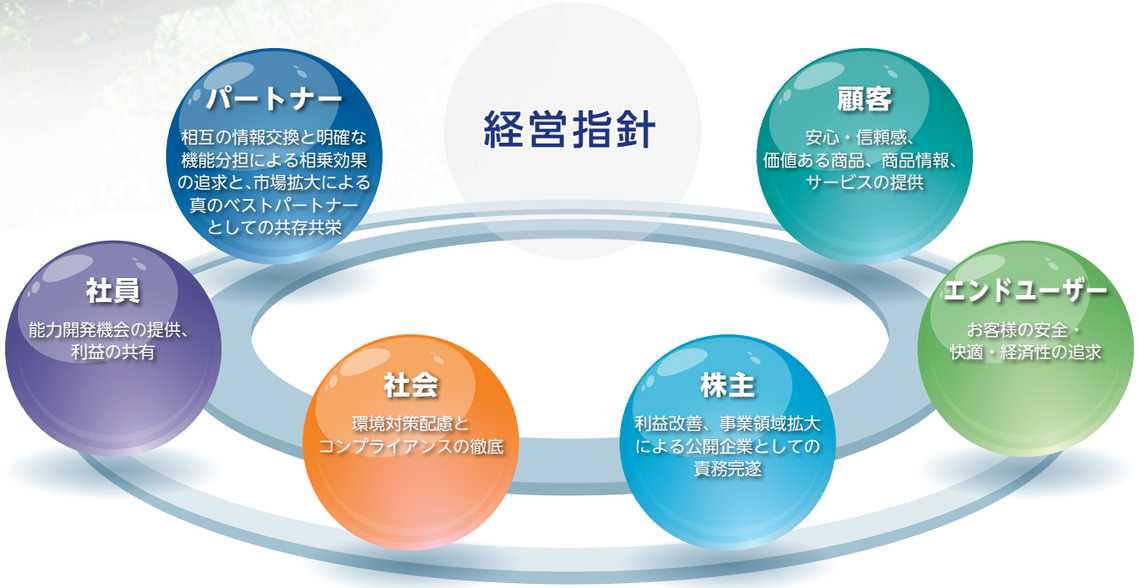
平成27年4月1日～平成27年9月30日

ムラキ株式会社

証券コード：7477

ムラキは「人が好き、車が好き」「ヒューマンカーライフの創造を通じ社会に貢献する」ことを念じています。

ムラキは、国内石油元売会社の7割と提携し、
サービスステーションの約25％（12,000ヵ所）をお客様とする総合商社です。
日本のカーライフの発展・充実に大きく貢献しています。



『勝つための戦略』を推進いたします。

①基本営業の標準化
②《MURAKI PROJECT》の全国推進

この2つの定義を基に戦略を展開・実行し通期での増収・増益を目指してまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループ第58期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
永井　清美

中間期の概況について

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、燃料油価格そのものの安定は継続しているものの、供給過多による製品安の状況が続く中、石油元売会社の再編や大手特約店の統廃合が加速するなど石油業界においては大きな変革が進んでおります。
主力事業であるカーケア関連の販売事業につきましては営業面において特約店取引の一層の強化及び専納化推進による納入向上策に取組んでまいりましたが、上記変革等の想定外の影響を受け業績が伸び悩みました。
当社主力商品の基本4品（オイルエレメント・ワイパーブレード・バッテリー・洗車機洗剤）が特に影響を受け、前事業年度末における強化販売の影響から当事業年度当初より需要に変化を招き売上高が当初予想を下回りました。
また同時に損益につきましても上記4品目が比較的高利益商品であることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が連動する形で減益となりました。

通期の見通しについて

当社グループといたしましては、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題であると認識し、業績に応じた継続的な利益配分を実施することを基本方針としております。

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、石油元売会社の再編および大手特約店の統廃合が加速したことによるSSの仕入控えと、当社主力商品の基本4品が当事業年度当初より需要に変化を招き売上高が当初予想を下回りました。

又、損益につきましては上記4品が比較的高利益商品であることから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が連動する形で当初予想を下回りました。

この第2四半期決算並びに今後の見通しを踏まえて、平成28年3月期の中間配当につきましては1株当たり2円を予定しておりましたが、1株当たり1円とすることといたしました。

なお、期末配当につきましては当初予想どおり1株当たり1円を予定しております。

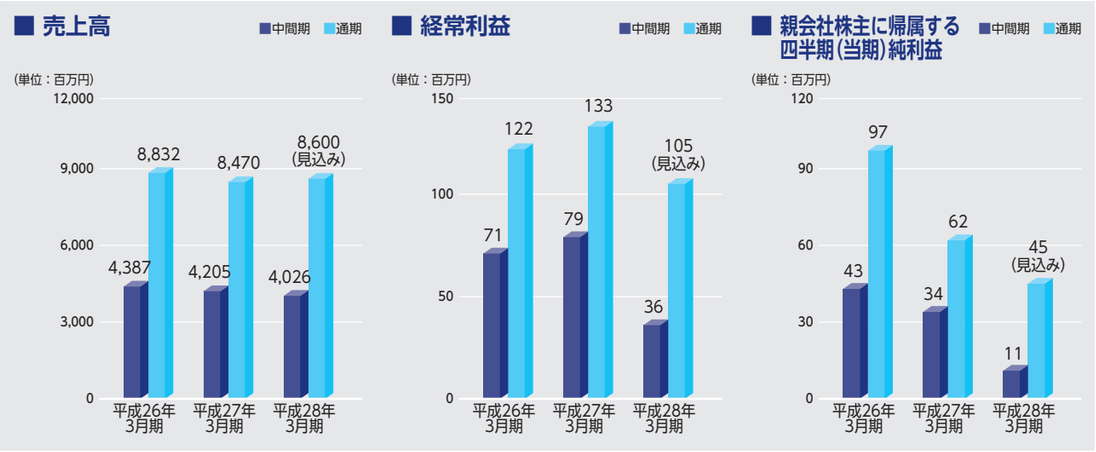
株主の皆様へ

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるSS業界においては、一時期の燃料油価格の乱高下から落着きをとりもどしてはいるものの、依然としてユーザーの買い控え意識が強く油外商品を除いた燃料油販売事業における収益環境が大きく改善することがない現在、トップアナリストも提唱する自動車関連ビジネス、所謂当社が推進するトータルカーライフサポートビジネス(T・C・L・S・B)の重要性は浸透しつつあります。

この様な状況のもと、当社におきましては前年の「M-WING」をとおしてSSにおける「快適新空間」を提案し大きな反響を得ました。これを受けて2015ムラキプロジェクトは店頭空間と情報発信機器に注力し併せて「快適新空間」を追求した店頭・店内空間のリノベーションを提案してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

FINANCIAL HIGHLIGHT ［財務ハイライト］



快適ウェイティングルーム　2015年　店内プランニング販売

快適新空間を求めた店内空間のリノベーションをご提案いたします。

Easy『簡単！』Value『安い！』
Originality『オリジナル！』
をコンセプトにパッケージ販売

《BEFORE》

《AFTER》

美しい木目と白が映えるコーディネイト

ホワイト中心の壁から茶系のウッドを取り入れることで落ち着きと重厚感がアップ。

フロアも暖色系のベージュを取入れ格調高い応接室へとランクアップ。

デジタルサイネージ　2016年　情報配信機器販売

MSP-Digital がユーザー・SS・ムラキを『つなぐ』ことで様々なシナジー効果を生み出します。

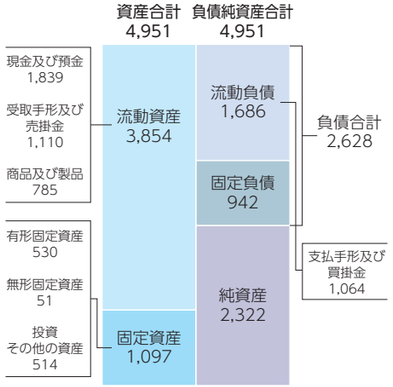
デジタルサイネージイメージ

店頭空間の演出

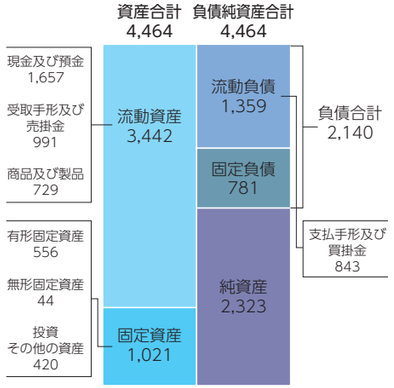
MSP-Digitalは2013年から始まった、MURAKI PROJECT『快適新空間』の究極に位置し、SSのインフラを整え、かつ、カーケア収益改善の一助となるムラキオリジナルのパッケージプランです。

カーメンテ・ケア［オイル・車検・洗車など］の情報を顧客へ「つなげる」SS業界初の試みです。

■ 連結貸借対照表の概要 （単位：百万円）



前期末
平成27年3月31日現在

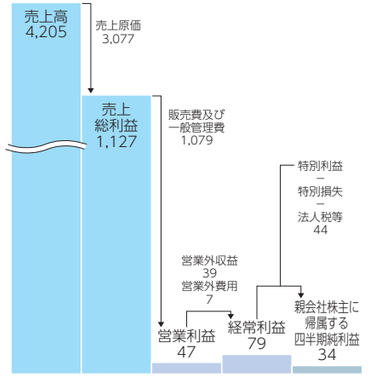


当第2四半期末
平成27年9月30日現在

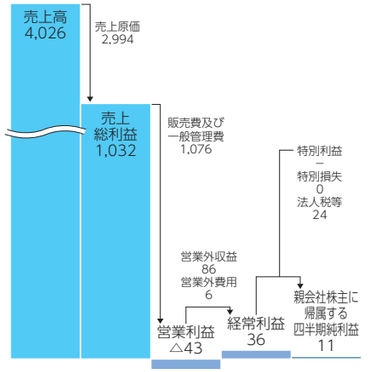
■資産
現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少しました。
投資その他の資産は減少しました。
この結果総資産は4,464百万円になりました。
■負債
支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金が減少しました。
■純資産
純資産は増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益によるものです。

当社グループの自己資本比率は52.1％となりました。

■ 連結損益計算書の概要 （単位：百万円）



前第2四半期
平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



当第2四半期
平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

■売上高
前事業年度末における強化販売の影響から需要に変化を招き当初予想を下回り、売上高4,026百万円（前年同期比4.3％減）となりました。
■営業利益
前事業年度末における強化販売の基本4品（オイルエレメント・ワイパーブレード・バッテリー・洗車機洗剤）が比較的高利率商品であることから営業利益が減益となりました。

北海道支店

東北支店
青森営業所
八戸出張所
盛岡営業所
仙台営業所
山形出張所
郡山営業所

北関東支店
水戸営業所
土浦営業所
宇都宮営業所
高崎営業所
新潟営業所

首都圏支店
川口営業所
川越営業所
千葉営業所
市原営業所
松戸出張所
東京営業所
西東京営業所

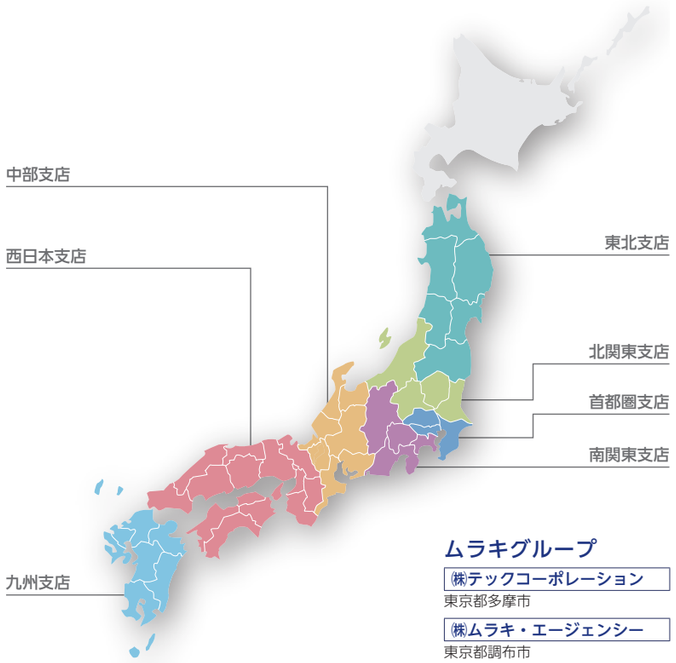
南関東支店
横浜営業所
小田原営業所
静岡営業所
沼津出張所
浜松営業所
甲府営業所

中部支店
名古屋営業所
小牧出張所
津営業所
富山営業所
金沢営業所

西日本支店
大阪営業所
京都出張所
姫路出張所
広島営業所
岡山出張所
高松営業所
徳島出張所
松山出張所

九州支店
福岡営業所
北九州出張所
熊本出張所
長崎出張所
鹿児島営業所
宮崎出張所

物流センター
関東物流センター
（埼玉県児玉郡）



ムラキグループ
㈱テックコーポレーション
東京都多摩市
㈱ムラキ・エージェンシー
東京都調布市

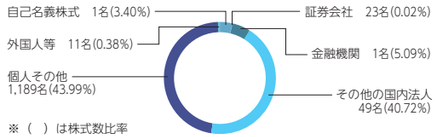
大株主

株主名	当社への出資状況 持株数
有限会社ドリーム・ワークス	2,550 千株
甲陽株式会社	2,500
村木ミチ	1,123
日本証券金融株式会社	749
ムラキ社員持株会	467
エイケン工業株式会社	460
株式会社SBI証券	312
松井証券株式会社	227
ムラキ取引先持株会	224
林和男	216

株式の状況

発行可能株式総数…… 50,000,000株
発行済株式総数…… 14,700,000株
株主数…… 1,214名（前期末比59名減）

所有者別株式分布状況



※（ ）は株式数比率